

公益社団法人 伊奈町シルバー人材センター

令和7年度事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

令和7年度を振り返ると、4月には国内で20年ぶりに国際博覧会の大阪・関西万博が開催されました。また、地球温暖化や国際紛争により、コモ価格高騰を含めた諸物価高騰が大きなニュースになりました。

センターでは、特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（「フリーランス新法」）に基づき、契約方法の見直しを行い、令和7年4月から制度改正に対応しました。また、「自主・自立、共働・共助」の理念の下、就業を希望する高齢者に就業機会を提供するとともに、地域社会への参加活動の推進や健康で生きがいのある生活の実現に寄与し、会員の皆様が健康で安全に就業できるよう各種の事業に取り組んだほか、会員増強のための普及啓発活動や就業機会の確保・拡大並びに安全・適正就業の推進等に努めてまいりました。

また、センターでは、令和8年度から令和12年度までの5年間の取り組みをまとめた「公益社団法人伊奈町シルバー人材センター第2次中期計画」を新たに策定しました。その中で5年後のセンターの将来像を「仲間と一緒に働いて、楽しさと健康と生きがいをもとめるシルバー」と定め、令和12年度まで会員数の拡大や安全就業の推進などに係る様々な取り組みを進めていくこととしました。

令和7年度末の会員数は320名で、「会員紹介キャンペーン」の実施や「女性向け入会説明会」の開催、また、センターの周知啓発のために「広報いな」へ記事を掲載するなど、会員増強に取り組んだところですが、前年度と比較して9名の減となり、2年連続して会員数が減少している状況となりました。

事業実績につきましては、受注件数で前年度比0.25%減の1,626件、契約金額では、前年度比4.1%増の約1億8,300万円となる一方で、就業延人員は前年度比1.5%減の38,350人とどまりました。

内訳としては、請負の受注件数が2件増加し、1,551件（前年度比較：0.13%増）、契約金額は201万円減少し、約1億305万円（前年度比較：1.9%減）となりました。

派遣事業においては、受注件数が6件減少し、75件（前年度比較：7.4%減）、契約金額は923万円増加し、約8,025万円（前年度比較：13%増）となりました。

以下、主な事業についてご報告いたします。

1 会員の増強

- (1) 会員の増強と就業機会拡大を図るため、4月から1年間「会員紹介キャンペーン」を実施し、また、広報紙や回覧を活用するなどの啓発に取り組み、33名の新規加入会員の申し込みがありました。
- (2) 今後更に増加が見込まれる「福祉・家事援助サービス事業」分野などの女性会員の増強を図るため、女性向け入会説明会を当初の3回から1回増やして4回開催しました。7名の女性会員の申し込みがありました。なお、女性入会説明会においては、女性役員・女性職員が対応し入会対象者に配慮した説明会を実施しました。
- (3) センターのホームページやシルバー広報紙、また、町広報紙や町のSNSやチラシの回覧などを実施し、センターの周知と会員入会の促進に努めました。また、「彩の国いきいきフェスティバル2025」や「町文化祭」に参加し、会員募集やセンターの活動などの周知啓発活動を行いました。

2 就業機会の確保・拡大

- (1) センター事業の理解と派遣を含めた就業機会の拡大を図るため、公共施設・金融機関等への啓発チラシの配置を実施しました。また、町内事業所を就業開拓として事業所訪問を実施しました。37の事業所を訪問し、3事業所から問い合わせや相談があり、7件の新規就業開拓に繋がりました。
- (2) 「福祉・家事援助サービス事業」分野への就業促進に努めました。また、「介護予防・日常生活支援総合事業」を実施し、支援が必要な方の生活援助を行いました。
- (3) 会員の知識と経験とをマッチングさせ就業機会の拡大を図れるよう推進しています。請負と派遣を合わせた契約受注件数は1,626件(対前年4件減)となっています。引き続き、業務の新規開拓に努めます。なお、就業率は、請負と派遣を合わせて99.4%(前年度比較:2.1%の増)でした。

3 安全・適正就業の推進

- (1) 「安全第一」・「事故ゼロ」を目指して、安全・適正就業委員会委員等による就業現場への「安全パトロール」を原則毎月1回行い、また、臨時のパトロールも行い、年間で14回、延65か所を巡回実施しました。

これにより、就業現場の安全環境の再確認、安全就業意識の向上が図られました。

- (2) 会員の安全就業に必要な知識・技能の向上のため、刈払機取り扱い安全研修、墜落制止用器具の安全教育、チェンソー特別教育講習や救命講習会等を実施しました。

令和7年度中の事故等の発生状況は、傷害事故15件、物損事故7件、合わせて22件（対前年13件増）でした。

- (3) 会員の安全意識や健康管理意識の向上のために、毎月会員向けの周知を行うとともに、衛生委員会の医師から、熱中症、花粉症、感染症等の健康に関する助言を定期的に周知しました。また、健康意識の向上と介護予防のために、フレイル予防研修を実施しました。

- (4) 夏季期間中の就業における熱中症対策に関し、令和6年度に策定した「熱中症予防ガイドライン」に基づき、熱中症特別警戒アラートや暑さ指数（WBGT 値）をもとに注意喚起を行い、会員の熱中症予防に努めました。

- (5) 前年度に引き続き、会員の就業時間及び就業期間の配分を考え、会員の能力に応じて公平に働く機会が得られるよう運営を図っていくことを検討しました。引き続き、会員数を増加させることや、会員の高齢化などの課題を整理しながら、安定したローテーションプランの検討を進めていきます。

4 普及啓発活動事業

- (1) 公共施設・金融機関等へのチラシの配置依頼やセンター広報紙「シルバーいな」を2回発行し、町広報紙に記事の掲載や町全区への回覧を行うなど、普及啓発活動を展開しました。

また、ホームページを活用し、センターのイベント等の情報発信に

努めました。

- (2) 普及啓発活動の一環として、伊奈まつり会場及びセンター周辺での清掃ボランティア活動を実施しました。延べ75名の会員が参加しました。また、県民活動総合センターでの彩の国いきいきフェスティバル2025や町文化祭に参加し、センターの周知啓発を行いました。

5 地域貢献活動の推進

- (1) 地域貢献活動として、伊奈まつり会場及びセンター周辺での清掃ボランティア活動を実施しました。延べ75名の会員が参加しました。
- (2) 町が実施している「伊奈町見守りオレンジネットワーク事業」の協力事業者の一員として、地域の見守り活動に取り組みました。

6 運営体制の充実・強化

- (1) 公益社団法人としての使命や社会的な責任を踏まえ、役員及び職員が一体となって運営体制の充実強化を図り、事務の効率化や経費の節減に努めました。
- (2) シルバー事業を円滑に推進するため、町や県シルバー人材センター連合、その他関係機関等と連携を深めながら事業の推進を図りました。
- (3) センター職員の資質・能力の向上のために、研修会等に参加しました。また、会員の就業や活動を支援する体制整備に努めました。

7 その他

- (1) 会員相互の交流としてサークル活動があり、サークルでは、就労とは異なる時間で会員相互の交流が行われました。他市のセンターの取組を参考にしながら新たなサークルの立ち上げを検討するなど、会員の交流機会の充実に努めました。